



株主のみなさまへ

第56期第2四半期 営業のご報告

2016年4月1日～2016年9月30日

- 1 はじめてのシマセイキ
- 3 社長メッセージ
- 7 事業別のご報告
- 9 特集:お客様サポート
- 11 連結財務諸表
- 13 会社概要
- 14 株式概要



はじめてのシマセイキ

よこ あみ き

多彩なニットを創り出す横編機のリーディングカンパニー

横編機は、デザイン性の高いニットウェアの生産で活躍しています。

シマセイキは、コンピュータ横編機メーカーとして常に新しい技術開発への挑戦を続け、ユーザー業界をリードしています。



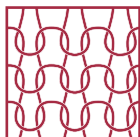
シマセイキの特長 1

技術革新を続けて半世紀

50年以上前、手袋編機メーカーとしてスタートした当社は、機械と電子の技術を融合した総合メカトロニクス企業として、技術革新を通じて世界のニット・アパレル産業の発展に貢献し続けています。

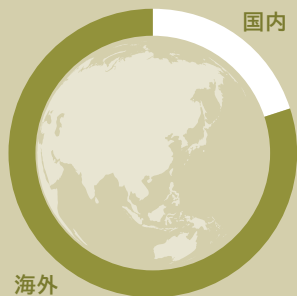


ホールガーメント®横編機で
作製したニットワンピース



ニットの特長

ニットとは、ループ状の編地になっている服や生地のことです。
伸縮性があり、からだにやさしい衣料で、通気性が良くカラーバリエーションも豊富です。
適した素材を使用することで、シーズンにかかわらず一年中着用することができます。



国内

海外

シマセイキの特長 2

海外販売が80%以上

ファッション産業の中心地イタリアや、世界最大のニット生産地である中国・香港、新たな生産拠点として拡大している南アジア・ASEAN諸国など、全世界で高い評価をいただいています。

シマセイキの特長 3

日本国内での一貫生産による “ジャパंकオリティ”

製造は全て国内の本社工場で行っています。部品から組み立てまでの一貫生産により、多種多様な製品を効率的に生み出すとともに、耐久性・安定性などの優れた品質を確保。世界中の顧客から高い信頼を獲得しています。



シマセイキの特長 4

横編機の最高峰 ホールガーメント®

「一着丸ごと縫い目がないニット」を作るホールガーメント横編機は、シマセイキの独自開発。高いデザイン性と着心地の良さを実現するとともに、カットロスや縫いしろが不要で省資源なうえ、世界的な縫製技能者の不足という問題の解決にも大きく寄与します。

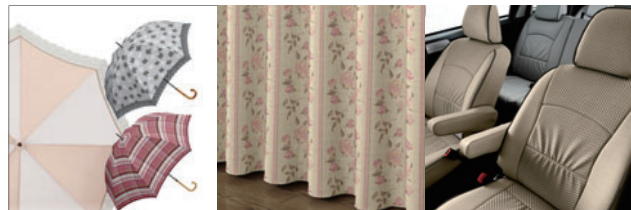
ホールガーメント横編機で
作製したニットドレス



シマセイキの特長 5

アパレル分野以外にも積極展開

デザインシステム関連事業を中心に、アパレル以外の分野にも「SDS®-ONE APEX3」や自動裁断機「P-CAM®」などを幅広く提案。高性能・高品質の製造機器をさまざまな業界に提供しています。





代表取締役社長
島 正博

円高の逆風に立ち向かい、増収を達成できました。下半期以降も世界各地でのものづくりのイノベーションを加速していきます。

Q 上半期(2017年3月期)の主な取り組みと業績について説明してください。

A 円高環境のなか売上・営業利益を大きく伸ばすことができました。

上半期は、前期(2016年3月期)の第4四半期から続く好調を維持し、世界各国で順調に受注を拡大しました。

この結果、上半期の連結売上高は296億15百万円(前年同期比31.5%増)の増収となりました。また営業利益についても、売上高の増加に加え、生産台数増加に伴う原価低減などにより55億0百万円(同176%増)と、前年同期に比べ大幅な増益となりました。

一方、本年度に入り急速に円高が進んだことから約36億円の為替差損が発生し、経常利益は23億10百万円(同5.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億83百万円

将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これらの予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を実現するため、現社長・島正博が1962年に創立しました。「Ever Onward — 限りなき前進」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。90年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製型の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業をはじめユーザー業界の発展に貢献してまいります。

(同3.8%増)にとどまりました。

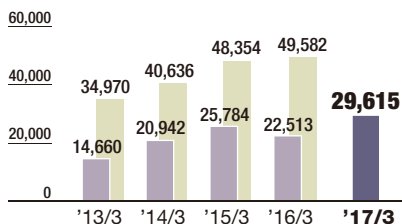
為替の影響により営業外費用が増加し、経常利益、純利益は伸ばせなかったものの、円高の逆風のなか、販売は世界各国で好調に推移しており、ほぼ期初計画通りに進みました。特に、昨年のミラノで開催されたITMA展に出展したホールガーメント®横編機の最新機種「MACH2®XS」をはじめ、高付加価値の製品が各市場で多くの引き合いを得ており、下半期もこの勢いを持続していきます。

Q 事業分野別の状況について説明してください。

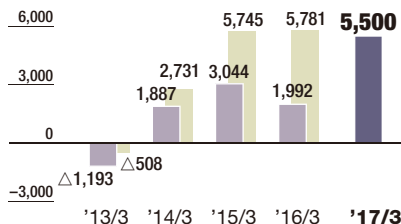
A アジア市場を中心に各地域で販売が伸長しました。

横編機事業では、引き続きアジア市場が全体を牽引しました。設備投資の拡大が続くバングラデシュや、ベトナムなどのASEAN諸国に加え、近年やや伸び悩んでいた中国市場でも、国内の衣料品市場に向けた高付加価値のものづくりへの転換

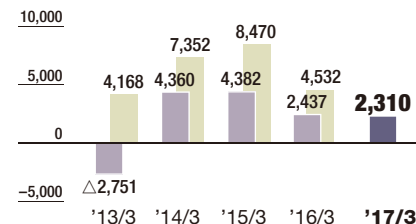
売上高 (百万円)



営業利益・損失(△) (百万円)

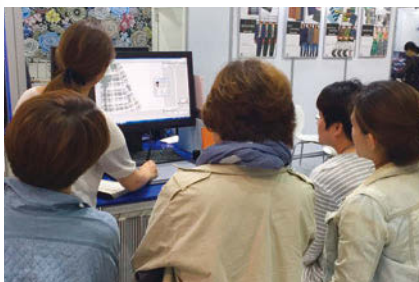


経常利益・損失(△) (百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

社長メッセージ



Preview in SEOUL 2016 (韓国)



SIMATEX 2016 (アルゼンチン)



ホールガーメント20周年記念イベント

や、シューズ分野でのコンピュータ横編機活用の広がりを受け、販売を伸ばすことができました。また中東のトルコでも、欧州アパレルの生産拠点としての勢いを取り戻し、販売が増加しました。ファッション産業の中心地イタリアでホールガーメント横編機や、織物風合いのニットが編める「SRY®」、多色編成に対応する「SIR®」などを中心に販売が伸長したほか、国内市場も「MACH2XS」の導入が好調に推移しました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」の出荷台数は前年並みでしたが、国内を中心にデザインツールとしての活用が広がりました。自動裁断機「P-CAM®」も国内を中心に販売を伸ばし、インテリア、自動車関連、航空機関連、産業資材分野などアパレル分野以外への導入が進みました。

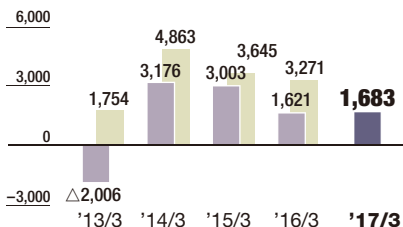
Q 下半期以降の主な取り組みについて説明してください。

A 中国の市場変化をホールガーメント横編機の拡大につなげていきます。

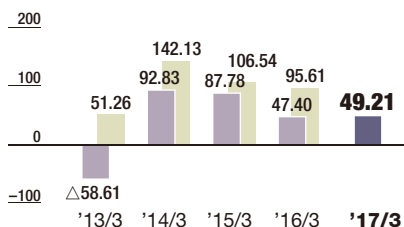
下半期以降も、昨年策定した中期経営計画「Ever Onward 2017」に沿って、各国・地域の顧客ニーズに密着した提案活動をグローバルに展開していきます。特に戦略商品と位置付ける「MACH2XS」に関しては、国内や欧州だけでなく、中国市場においても積極的にアプローチを展開していく方針です。

経済成長鈍化が懸念される中国ですが、国内の衣料品需要は拡大を続けており、従来の輸出向けOEM生産から内需を

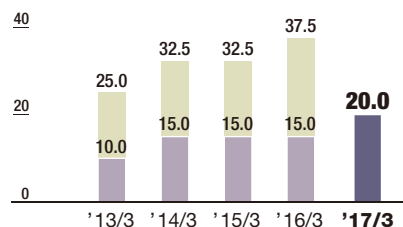
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・損失※(△) (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益・損失※(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

※2016年3月期以降は「親会社株主に帰属する四半期純利益」

ターゲットとした上質な衣料品の製造へシフトするとともに、企画から販売まで一貫して行うSPA（アパレル製造小売業）型ビジネスに乗り出す顧客が徐々に増加しています。こうした顧客の潜在ニーズを掘り起こすことで、中国でのホールゲーム横編機の受注拡大を目指します。

デザインシステム関連事業では、「SDS-ONE APEX3」のニット業界以外の異業種への導入を国内外でさらに促進するとともに、自動裁断機「P-CAM」も国内で培った技術力と品質を武器に海外の多様な業種への提案を強化していきます。

以上の取り組みにより、通期連結業績は売上高630億円、営業利益115億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益55億円を計画しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A 「ないものは自ら創り出す」の思想で
今後も革新的なもののづくりを続けていきます。**

当期の株主の皆様への配当金は、中間配当金を昨年から5円増配の20円、期末配当金を同じく2円50銭増配の25円とし、年間配当金は1株につき45円で実施させていただく予定です。

先般、当社の“全自動横編機”が「戦後日本のイノベーション



100選」に選定されました（下記コラム参照）。“全自動横編機”は、50年以上前に開発した世界初の全自動手袋編機が全自動フルファッション衿編機、さらにコンピュータ制御横編機と発展して、世界のニット産業を大きく変えました。今回の選定は、創業から現在に至るまで「ないものは自ら創り出す」という考えのもと、革新的なもののづくりに尽力し続けてきた結果であると考えています。

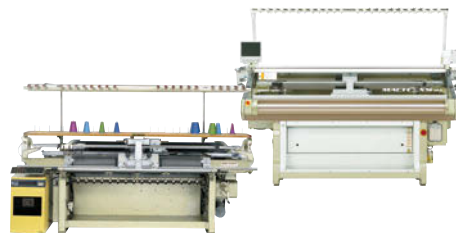
これからも当社は、“Ever Onward—限りなき前進”の経営理念のもと、世界のファッション産業を変革する、新しい製品、サービスの創出に挑戦し続けていきます。株主の皆様には、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願いいたします。

Column / シマセイキの“全自動横編機”が「戦後日本のイノベーション100選」に選定

当社の“全自動横編機”が、公益社団法人発明協会による「戦後日本のイノベーション100選」に選定されました。

この100選は、戦後日本の産業発展に寄与した各分野のイノベーションを選んだもので、内視鏡、インスタントラーメン、新幹線、ウォークマン、ウォシュレットなど、わが国を代表するそうそうたる発明品が選ばれています。全自動手袋編機の技術展開から1978年に誕生したコンピュータ制御横編機「SNC」は当社の成長の礎であり、最新機種「MACH2XS」に至るまで、たゆまぬ進化を続けてきました。

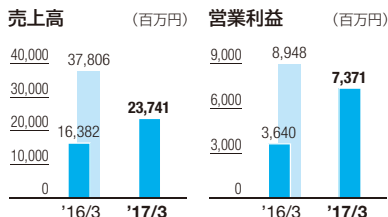
これからもシマセイキは革新的技術で世界をリードしていきます。



「SNC」(左)と「MACH2XS」(右)

通期 ■■■
第2四半期累計 ■■■■

横編機事業



世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、伸縮性を抑えた新しい編地ができる「SRY®」、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」、さらに高速編成を可能とする「SVR®」など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップで進化し続けています。

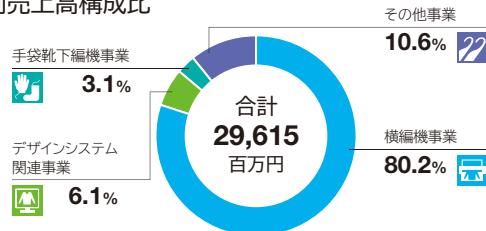
主力のアジア市場では、欧米アパレルの生産拠点であるバングラデシュや、ベトナムなどのASEAN諸国で、「SSR」や「SVR」を中心に売上が拡大しました。近年低調だった中国市場でも、拡大する国内衣料品市場に向けた付加価値の高いものづくりへの変換や、シューズ分野でのコンピュータ横編機の活用の広がりといった市場の変化を受け、販売を伸ばしました。このほか韓国でも多品種少量、クイックレスポンスの消費地型生産体制が進んだことで、ホールガーメント横編機の最新機種「MACH2®XS」の導入が進みました。

中東のトルコも、欧州アパレルの生産拠点としての競争力を回復し「SVR」や「SSR」の売上が伸びました。

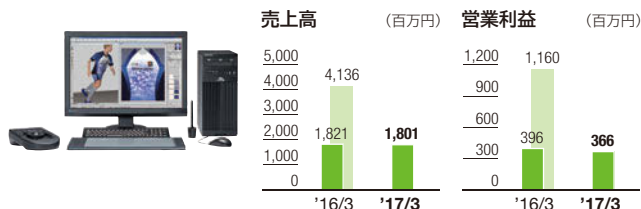
また、イタリアでは、「MACH2XS」や「SRY」を中心に売上が伸びたほか、国内市場においても「MACH2XS」を中心に好調に推移しました。

以上の結果、横編機事業の売上高は、237億41百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

事業別売上高構成比



デザインシステム関連事業



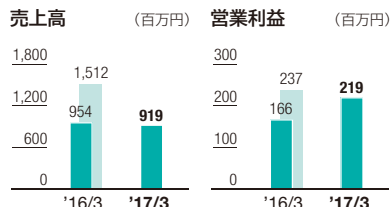
アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のものづくりを支援するデザインシステムを提供。高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機による異業種への展開も積極的に進めています。

デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、横編機の販売拡大に伴い海外での売上が増加しました。自動裁断機「P-CAM®」も、顧客ニーズに対応した機種バリエーションの拡充により、国内を中心にインテリア、自動車関連、航空機関連、産業資材分野などアパレル以外の分野にも導入が広がり、順調に売上を伸ばしました。

しかし、円高の影響を受けたこともあり、デザインシステム関連事業の売上高は18億1百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

通期 ■■■
第2四半期累計 ■■■■

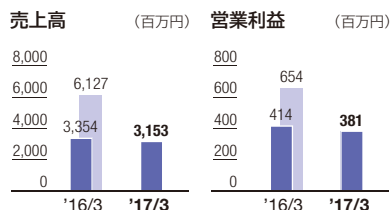
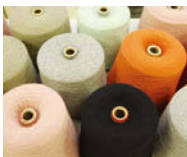
手袋靴下編機事業



当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化も進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。

顧客の設備投資は堅調に推移しましたが、作業用手袋の需要の伸び悩みと円高の影響により、売上高は9億19百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

その他事業



当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。

保守部品の販売やメンテナンスサービスなどが横編機の売上に連動して堅調に推移しましたが、カシミア関連事業の売上がやや低調となり、売上高は31億53百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

「ITMA ASIA+CITME 2016」に出展 ビジネスチャンスの広がりに確かな手応え

● Shanghai

過去最大の規模で大盛況

当社は2016年10月、中国・上海で開催された繊維機械見本市「ITMA ASIA+CITME 2016」に出展しました。

今回のITMA ASIA展では1,600社を超える展示ブースが設けられ、アジアを中心に世界中から来場者が訪れました。

経済成長に伴い衣料品需要が変化している中国市場を視野に、当社はホールゲーム横編機の最新機種「MACH2XS」をはじめ、インレイ柄が編成できる「SRY」やデザインシステム「SDS-ONE APEX3」といった高付加価値の製品を前面に打ち出しました。

ユーザーの新たなニーズに応える

中国におけるニット製造業では、市場構造の変化を背景に省人化、高付加価値化、環境対応といったニーズが拡大。従来のOEM生産から脱皮し、企画から販売まで一貫で手掛けるSPA(アパレル製造小売業)型ビジネスへ挑戦する顧客も増えています。

これに対応し当社ブースでは、ニット生産の各プロセスを見える化してものづくりのサプライチェーンを最適化できる「Shima KnitPLM®」のデモンストレーションを実施。新しいWEBサービス「staf®」(次ページ参照)も紹介し、「SDS-ONE APEX3」を核としたトータルソリューションの提案で多くの来場者の注目を集めました。

また、ホールゲーム横編機にも、製品の高付加価値化を目指す顧客から多数の引き合いがあり、ビジネスチャンスの広がりに確かな手応えを得た5日間となりました。





独創性の高いものづくりを強力にバックアップ

過去×現在から未来をインスピレーションできるWEBサービスを開始

2016年9月、ファッションに関するさまざまなコンテンツの提供を通して、オリジナリティあるものづくりを支援する新しいWEBサービス「staf® (shima trend archive & forecast)」がスタートしました。その開発を主導した取締役副社長・島三博が、新サービスの狙いとそこにかかる想いを語ります。



取締役副社長
島 三博

営業本部副本部長兼
経営企画部担当

“同質化”に陥っている
ファッション業界を活性化したい

近年のファッション業界では「トレンドに追従する」という風潮のなか、商品自体のオリジナリティがどんどん失われています。

ファッションアイデアを生み出す 多彩なコンテンツ

パリコレなど最新のファッションショーの写真に加え、これまでのトレンドの変遷を見ることができます。

また、自分の気に入った写真や素材をアイデアボードに集約することで、インスピレーションが芽生え、イメージを共有して検討することができます。

staf®
shima trend archive & forecast



スマートフォン、タブレットからもアクセス可能。
デザイナーがどこでもアイデアを生み出せる

過去×現在の膨大な蓄積に接する



そうした“同質化”が、業界全体の元気をなくしてしまっている一因であると感じています。

「staf」開発の背景には、こうした状況の脱却を目指し、ファッション業界をもっと創造性、付加価値のあるものを創れる業界にしていきたい、という強い想いがありました。

過去50年分のトレンド情報を効率よく活用できる

デザイナーはオリジナリティある商品を生み出すために思考を巡らせていますが、アイデア収集、商品企画、サンプル作成など短期間で行っているのが現状です。

この「staf」には、来シーズンの予測を含めた過去50年分のファッションアーカイブとトレンド情報や豊富なコンテンツが用意されているので、短い時間で効率的にアイデアを具現化できます。

さらに、「SDS®-ONE APEX3」と連動させることで、高品位

なシミュレーションやバーチャルサンプル作成など、企画側と生産側の双方で具体的なデザインも共有することができ、スピーディにビジネスへと展開できます。

当社製品の顧客以外にもユーザーを獲得 新鮮なコンテンツを提供し続けていく

開発にあたっては、多様なモデルユーザーを想定し、ヒアリングやリサーチを重ねて仕事の現場で真に「使える」サイトを目指しました。その甲斐あって利用者からは高い評価を受け、ユーザー数も着実に増えてきています。当社製品の顧客以外の利用者も獲得できているのは「staf」の実用性の高さの証であると考えています。

今後は糸などの素材データや子供服・メンズなどの情報も増やし、ファッション業界全体の活性化に貢献すると同時に、顧客サービスのさらなる充実にも注力していきます。

未来をインスピレーションする



総合写真エージェンシー、株式会社アフロと提携し、パリコレなど世界中の最新ファッションが随時追加されています



staf®
shima trend archive & forecast



<https://staf.shimaseiki.com/>



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
流動資産	90,986	87,589	89,983	流動負債	26,172	18,132	19,548
現金及び預金	9,554	11,254	11,158	支払手形及び買掛金	3,954	5,285	6,716
受取手形及び売掛金	61,766	54,907	58,313	電子記録債務	2,473	—	—
その他	21,084	22,903	22,361	短期借入金	7,800	6,250	6,002
貸倒引当金	△ 1,419	△ 1,475	△ 1,850	1年内返済予定の長期借入金	5,000	—	—
固定資産	36,140	37,982	36,431	その他	6,944	6,596	6,830
有形固定資産	21,110	19,816	20,442	固定負債	3,747	8,648	8,573
土地	10,928	10,892	10,909	長期借入金	—	5,000	5,000
その他	10,182	8,923	9,532	その他	3,747	3,648	3,573
無形固定資産	3,910	4,923	4,428	負債合計	29,920	26,780	28,122
のれん	3,684	4,813	4,311	株主資本	105,374	103,675	104,810
その他	225	110	116	資本金	14,859	14,859	14,859
投資その他の資産	11,120	13,242	11,561	資本剰余金	21,724	21,724	21,724
投資有価証券	7,560	7,931	7,070	利益剰余金	75,699	73,998	75,135
その他	6,810	9,625	8,659	自己株式	△ 6,908	△ 6,907	△ 6,908
貸倒引当金	△ 3,249	△ 4,314	△ 4,168	その他の包括利益累計額	△ 8,357	△ 5,078	△ 6,708
資産合計	127,127	125,571	126,415	その他有価証券評価差額金	554	747	124
				土地再評価差額金	△ 7,003	△ 7,004	△ 7,003
				為替換算調整勘定	△ 2,103	1,007	△ 29
				退職給付に係る調整累計額	194	170	200
				新株予約権	180	180	180
				非支配株主持分	9	14	10
				純資産合計	97,206	98,791	98,293
				負債純資産合計	127,127	125,571	126,415

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
1▶ 売上高	29,615	22,513	49,582
売上原価	15,605	12,026	26,237
売上総利益	14,010	10,486	23,345
販売費及び一般管理費	8,509	8,493	17,563
2▶ 営業利益	5,500	1,992	5,781
営業外収益	544	685	1,111
営業外費用	3,734	240	2,360
3▶ 経常利益	2,310	2,437	4,532
特別利益	18	146	293
特別損失	42	10	23
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,286	2,573	4,803
法人税、住民税及び事業税	516	908	1,847
法人税等調整額	85	43	△ 315
四半期(当期)純利益	1,684	1,622	3,271
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	0	0	△ 0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,683	1,621	3,271

POINT

1▶ 売上高

横編機事業において、バングラデシュやASEAN諸国で売上が拡大したほか、中国市場や韓国市場でも売上が伸長しました。また、中東のトルコにおいても売上が拡大しました。これらの結果、売上高は296億15百万円(前年同期比31.5%増)となりました。

2▶ 営業利益

売上高の増加に加えて生産台数増加に伴う原価低減などにより、営業利益は55億0百万円(前年同期比176.0%増)と大幅に増加しました。

3▶ 経常利益

営業外費用で為替差損36億59百万円(前年同期は為替差益1億41百万円)が発生したことで、経常利益は23億10百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
4▶ 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 781	△ 1,671	1,257
5▶ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 644	△ 828	△ 2,350
6▶ 財務活動による キャッシュ・フロー	862	△ 827	△ 1,776
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 916	△ 22	△ 542
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 1,479	△ 3,349	△ 3,412
現金及び現金同等物の 期首残高	9,752	13,164	13,164
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	145	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	8,418	9,814	9,752

4▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加や法人税等の支払により、7億81百万円の資金の減少となりました。

5▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出などにより、6億44百万円の資金の減少となりました。

6▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加などにより、8億62百万円の資金の増加となりました。

会社概要

会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	株式会社島精機製作所
(英文表記)	SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,290名(連結1,879名)
事業内容	コンピュータ横編機 デザインシステム 自動裁断機 手袋靴下編機 などの開発、製造、販売



本社ビル

事業所 (2016年9月30日現在)

支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)

海外支店 台北支店 (台北市)

工場 本社工場 (和歌山県和歌山市)

役員 (2016年9月30日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	営業本部副本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム製造技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼管理部、物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO
取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	公認会計士・税理士
監査役	野村 祥子	弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄、残間里江子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

社外取締役 残間里江子氏のご紹介



ざんま りえこ
残間 里江子
株式会社キャンディッドプロデュース
代表取締役社長

2016年6月より、株式会社キャンディッドプロデュース代表取締役社長の残間里江子氏を当社の社外取締役に迎えました。

同氏のプロデューサーとしての豊富な経験や、企業経営者としての経営全般にわたる幅広い見識を活かし、ガバナンス体制をより強化していきます。

株式概要

株式の状況 (2016年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③株主数…………… 15,372名
- ④大株主

(千株未満切り捨て)

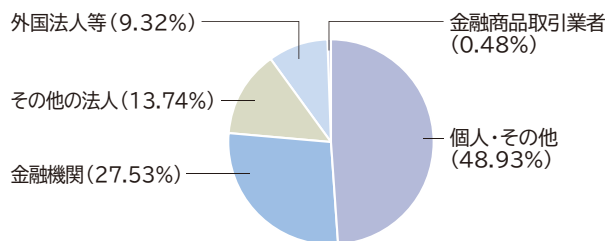
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	4,020	11.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,452	7.17
株式会社紀陽銀行	1,472	4.30
島 正 博	1,070	3.13
島 三 博	1,061	3.10
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	981	2.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	708	2.07
株式会社池田泉州銀行	700	2.05

(注)当社は、自己株式2,382千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

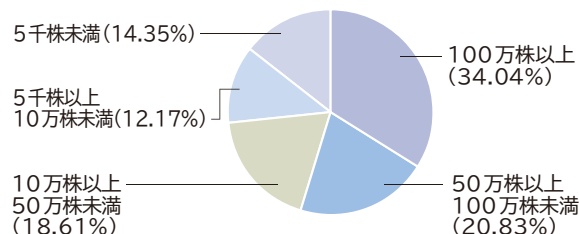
連結子会社(2016年9月30日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
株式会社SHIMA	(和歌山県和歌山市)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司 (SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島精榮貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)
SHIMA SEIKI KOREA INC.	(韓国)

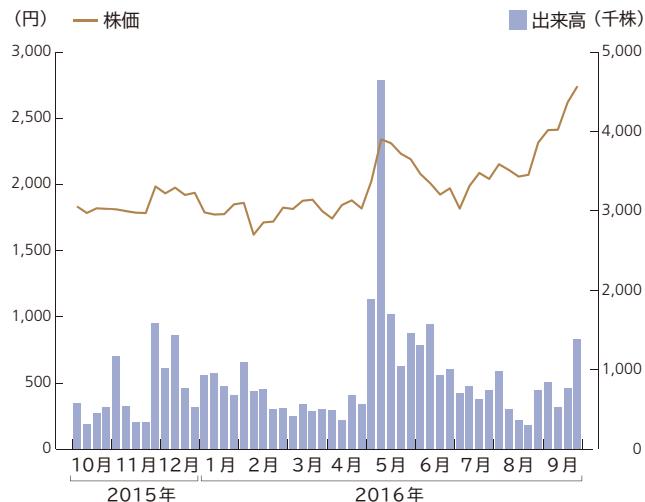
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告
下記当社ホームページに掲載
(<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL (073) 471-0511 (代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーマント、MACH2、SIR、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、Shima KnitPLM、stafは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。



緑化を推進する企業として 内閣総理大臣賞を受賞

当社の本社工場が、「平成28年 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣賞」を受賞しました。

同賞は、緑化活動の推進などに顕著な功績のあった個人や団体に対して内閣総理大臣より表彰されるものです。当社は「よい製品はよい環境から生まれる」を理念として、長年にわたり工場の緑化に取り組んできました。その結果、工場敷地面積の約30%を緑地として確保するとともに、周囲にも植栽を提供するなどの環境整備活動が高く評価され、受賞に至りました。

今回の受賞を励みに、より一層環境への取り組みを進めてまいります。



受賞盾

